

大洲支部

1 はじめに

大洲支部では、今年度、支部内全ての小・中学校にタブレット端末が整備された。「情報社会に生きる力を育む教育の研究と実践」という研究主題を掲げ、タブレット端末、プログラミング教育の実践研究に力を入れている。

2 実践事例

(1) 学習支援ソフトウェアの活用講習会

教育委員会と連携し、各業者が主催する「コラボノート」「ロイロノート」「eスタ」「デジタル教科書」等の学習支援ソフトウェアの活用方法に関する研修を行った。指導者の視点だけではなく、授業を受ける子どもたちの視点にも立てるように両面の使用方法について実際にタブレット端末を使用しながら学んだ。

(2) 学習支援ソフトウェアを活用した授業実践

タブレット端末が整備されたことにより導入された、「ロイロノート」や「デジタル教科書」等の学習支援ソフトウェアを使用することで、どのような教育的効果が得られるのかを考えながら実践を行った。

○ 4年理科「ものの体積と温度」

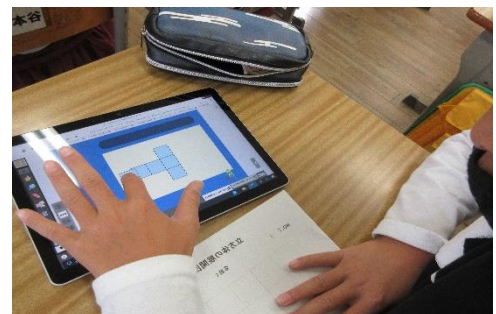
シャボン液を付けたピンを温めることによってシャボン玉が膨らむ様子を見て、ピンの中で空気がどのような変化をしているのか考えた。その際、児童が記入したワークシートをカメラで撮影し、「コラボノート」で全体共有を図ることで、目の前にある個人のタブレット端末で友達の考えを比較することができた。



【ロイロノート活用の様子】

○ 4年算数科「立体」

11種類ある立方体の展開図を考える際に、面を6つ並べると自動的に立体を組み立てられる内容のデジタルコンテンツを使用した。従来は厚紙で展開図を組み立てていたため、時間的制約や工作技能の影響でトライアンドエラーを繰り返しながら活動するのが困難だったが、デジタルコンテンツを使用することによって作業面での時間短縮が可能となり、学習内容に集中して取り組めた。



【デジタルコンテンツ活用の様子】

3 成果と課題

本支部は、多くの学習支援ソフトウェアを導入し、充実した学習環境を整備できつつある。現段階では、「まずは使用してみる」ことを念頭に置き、様々な学習支援ソフトウェアを使用している。試段階で得られた成果や課題を次年度のより専門的な研究につなげようと考えている。